「赤ちゃんと絵本楽しむ」ブックスタート事業

さらなる参加者増に向けた取り組み聞く

議員　地域のすべての赤ちゃんと保護者に「赤ちゃんと絵本を楽しむ時間の大切さ」を伝えながら直接絵本を手渡しすることを目的として、平成十七年にブックスタート事業が始まった。参加者の反応を聞きたい。

教育長　参加者へのアンケートでは「参加してよかった」との回答が一〇〇％であり、市民ボランティアによる丁寧な説明と、子育てへの応援が参加者の満足度に表れているととらえている。

移動図書館車「あおぞら号」

議員　今後、さらに参加者を増加させるための取り組みを伺いたい。

教育長　図書館の窓口や移動図書館車「あおぞら号」を活用して参加を呼びかけ、また申し込み方法の簡略化や関係各課が実施する乳幼児向け事業で広報活動を行うなど、より多くの対象者が参加できるよう取り組んでいきたい。また二十年度以降はブックスタート事業の日曜日の開催日数を増やしていく考えである。

議員　赤ちゃんを対象としたブックスタート事業の後、幼児等に対してはどのような事業を行っているのか。

教育長　〇歳児から三歳児までを対象とした「赤ちゃん文庫」や「わらべうた・手遊びの会」があり、十九年度末には「乳幼児向けおはなし会」等を実施する予定である。

議員　図書館へ行く機会の少ない未就学児を対象とした主な事業にはどのようなものがあるのか。

教育長　平成十九年一月から、「あおぞら号」で幼稚園や保育園を訪れる出前図書館事業を開始した。今後も継続して実施する予定である。

「子ども読書活動推進協議会の活動方針」

議員　子ども読書活動の取り組みの一環として、各地区で子ども読書活動推進協議会が設立され、行政と協働して読書活動の推進を図っている。この推進協議会はどのような方針で活動を行っているのか聞きたい。

教育長　読書を通じて子供たちの健やかな成長を支援するため、①子どもの自由で主体的な読書環境づくり、②本を楽しむ機会の創出、③本を仲立ちとした親子のコミュニケーションの充実を基本方針としている。地域の特性等も加味し、幅広い活動を展開している。

議員　次期平塚市子ども読書活動推進計画の策定に当たり、今後この協議会をどのように活用していく考えなのか。

市長・教育長　現在一二中学校区に設置されている子ども読書活動推進協議会を二十年度は全中学校区に設置する予定である。学校や地域団体など現場の声を十分に生かしつつ、子供の発達段階に応じた取り組みを推進し、協議会のネットワークを有効活用していきたい。

雇用の創出・促進へ

本市独自の施策実施を

議員　平塚市総合計画基本計画に掲げた基本施策の一つである雇用の安定拡大を図るため、市としてどのような事業を実施しているのか聞きたい。

経済部長　一般労働者を対象に時局のテーマで労働セミナーを開催し、労働諸問題に対する理解を深めるとともに、機関紙「勤労ひらつか」を毎月発行し、労働情報の提供を行っている。今後も就職活動支援セミナーの開催や就職情報の提供等を行い、就労支援に努めていく。

議員　他都市では、雇用を促進するための計画を策定し、独自の施策を展開している。本市においても雇用推進計画を策定すべきと考えるが見解を聞きたい。

経済部長　雇用創出のためには雇用環境を一層整備していくことが必要である。本市でも他都市で策定されている計画を参考にしつつ、研究していきたい。

市内小売業年間販売額の減少

商業活性化策の効果問う

議員　経済産業省が実施している商業統計調査結果から、小売業の年間販売額を平成九年と十四年で比較した場合、本市は近隣市の中で特に減少率が高い。原因をどのようにとらえているのか。

経済部長　小売業全体の事業所数が減少し、中でも自動車・自転車小売業の販売額が大きく減少したことが原因と考える。

議員　この結果を踏まえ、商業の活性化を図るためにどのような施策を行ってきたのか聞きたい。

経済部長　アーケードや街路灯の修繕などのハード面のほか、ソフト面では、各種イベントとともに店舗の魅力アップのため、「商業経営セミナー」等を開催し、意識の啓発を図る施策を行ってきた。

議員　施策の実施で十分に効果は上がったのか。

経済部長　個店の紹介やホームページ作成への支援、経営合理化促進などの施策については、必ずしも十分な効果を発揮できなかった。このため、今後は商業関係者と新たな活性化策を検討していきたい。

議員　市外へ流出した市民消費を取り戻すため、具体的な施策を打ち出す必要があると考えるが、大型店の誘致について基本的な考え方を聞きたい。

経済部長　大型店と個店が共に繁栄している他市の商店街の状況と比べると、本市には個性的な個店が少ないなどの点が見受けられる。また少子高齢化の進行等により、消費動向の変動も想定される。地域のニーズに沿った店舗の内容や数が、健全な商店街の存続に必要であり、大型店の誘致は慎重に行うべきと考えている。

平塚市観光協会の将来の方向性

収益事業を基本の運営めざす

議員　景気が低迷する中、市内の観光資源を活用して本市の活性化を進めることも必要である。今後、平塚市観光協会の役割が重要になると考えるが、将来の在り方についてどのように考えているのか。

来場者の増加が望まれるビーチパーク

経済部長　観光協会が市の活性化に向け、さまざまな事業を展開していくには、収益事業を基本とした運営が必要である。そのためには民営化を進めることが不可欠であると考えている。

議員　平成十九年九月、平塚商工会議所内に平塚観光活動推進検討委員会が設置されたが、観光協会の目指す方向性についての検討事項を伺いたい。

経済部長　観光を新たな視点からとらえて市の活性化につなげること、自主財源の確保を目指すことなどが挙げられている。

サミットと開催重複　第58回七夕の警備は

議員　本市の財産であり、観光資源である「湘南ひらつか七夕まつり」は、二十年度、北海道洞爺湖でのサミットと開催期間が一部重複し、例年より警察の警備体制が縮小すると思われる。七夕まつりを安全に開催するための方策を聞きたい。

経済部長　平塚警察署からは最大限協力する旨の回答を得たが、自主警備体制の徹底や会場のコンパクト化、イベントの縮小・休止も検討し、警察等関係者と連携し警備体制を整える計画である。

議員　全国有数のイベントである七夕まつりを通年で考え、「七夕のまちひらつか」をPRするための取り組みを聞きたい。

経済部長　例えば、すでに商品化されている七夕ミニ笹飾りや竹炭等をPRして販路を拡大することや、紅谷町まちかど広場を活用した事業を行うことなども考えていく。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

十二月定例会では全国初の自殺対策条例である「平塚市民のこころと命を守る条例」が議員立法で可決されました。何よりも人・生命を第一とする社会にと願ってやみません。

今年は平成も二十歳を迎え節目の時、また本市にとっても北口駅前、西口の整備、そして新庁舎の建設などさまざまな施策が動き出す節目の年です。このような時だからこそ地に足を着け議会改革、行財政改革にしっかり取り組んでまいります。

議会だよりが議会と市民の皆様を結ぶパイプ役を果たすため、これからも分かりやすい紙面づくりに一層の努力を重ねてまいります。本年もよろしくお願いいたします。

編集委員
須藤量久　伊東尚美
山原栄一

議　長　落合克宏
副議長　松崎清子

☆　事務担当は、議会事務局議事課調査担当　電話二三―一一一一（内線二三六七）です。

市議会を傍聴してみませんか

次回定例会の予定

- ２月18日（月）　定例会本会議（提案説明）
- ２月27日（水）～３月３日（月）　定例会本会議（代表・総括質問）
- ３月５日（水）～６日（木）　総務経済・都市建設常任委員会
- ３月７日（金）～10日（月）　教育民生・環境厚生常任委員会
- ３月17日（月）　定例会本会議　最終日

◇湘南ケーブルネットワーク（SCN）で定例会本会議の模様をテレビ放映しています。

※生中継は午前10時（予定）から２チャンネルで、録画放映は当日の午後７時（予定）から９チャンネルでご覧ください。